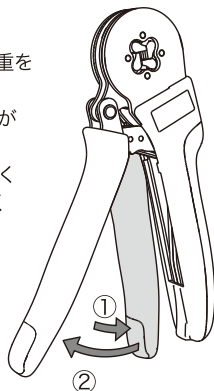


## 使用方法

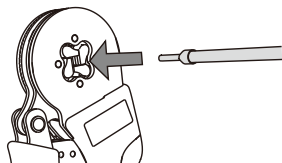
### ■ 圧着の前に…

- ① 閉じているハンドルを握って荷重を加えると、
  - ② 成形確認機構が動き、ハンドルが開きます。
- ※このとき、ハンドルが勢いよく開く場合がありますので、注意してください。

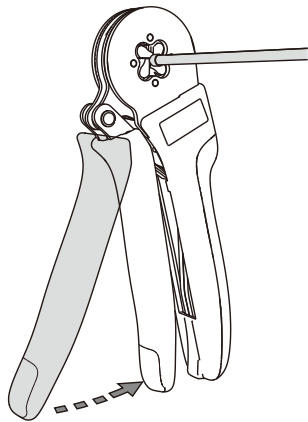


### ■ 圧着方法

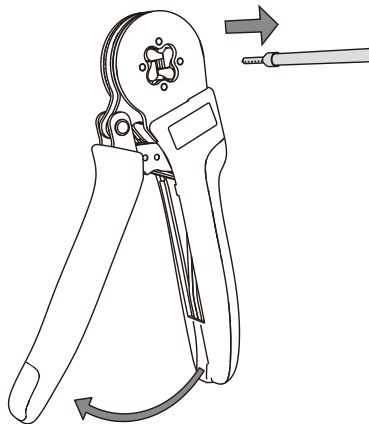
- ① 電線にフェール端子をセットしてダイスに挿入します。



- ② ハンドルを握り、荷重を加えて圧着します。

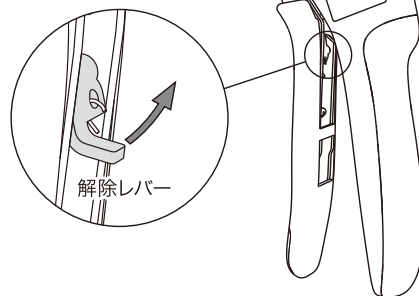


- ③ 圧着が完了するとハンドルが開きます。  
ハンドルが開くまで荷重を加えてください。

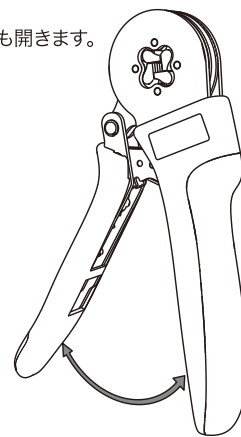


### ■ 圧着途中での解除

- ① 圧着の途中で解除する必要がある場合、可動側ハンドルの内側の解除レバーを矢印の方向に操作してください。

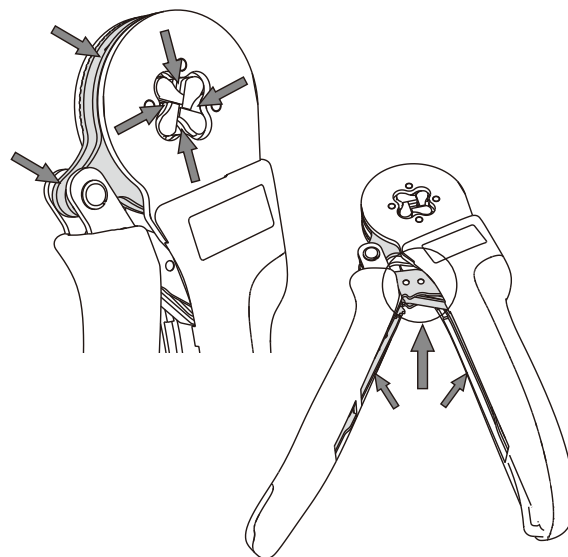


- ② ハンドルが開き、同時にダイスも開きます。



### ■ メンテナンス

ご使用後、または定期的に、図の矢印の箇所に油を塗布することで、サビの発生を抑え、製品寿命を延ばすことができます。



# フェルール端子用 0.14~10mm<sup>2</sup> (AWG26~8)

## 特 長

- フェルール端子用小型圧着工具
- 人間工学に基づく強度と耐久性
- 軽量・コンパクト
- 握りやすいグリップ形状
- 落下防止ストラップ穴付

## 安全上のご注意

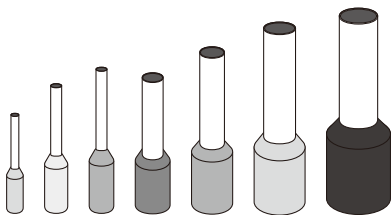
事故やけがを未然に防ぐために、次に記載する警告事項を必ず守ってください。

### ⚠ 警告

1. 活線の圧着やその付近での作業は行わないでください。感電の恐れがあります。
2. 適合する端子と電線を使用し、正しくお使いください。
  - 接続子の呼びと工具のダイス位置とを必ず合わせてください。
  - 電線は接続子の電線抱合容量の範囲を守ってください。
  - 成形確認機構により、圧着が完了しないとハンドルが開かない構造になっています。ハンドルが開くまで荷重を加えてください。
  - 圧着完了前に無理にハンドルを開くと、ラチェットギア等成形確認機構部が破損、損傷しますので絶対にしないでください。
  - 成形確認機構を外しての使用等、改造して使用しないでください。
3. 解除レバーを押し上げることで圧着途中でも解除できますが、無理な力を加えると破損、損傷の原因になります。
4. ご使用前に各部に損傷がないかをチェックし、損傷がある場合は修理に出してください。圧着不良により火災の原因になる恐れがあります。
  - 成形確認機構が正常に作動しなくなった際は使用しないでください。
  - 各軸に摩耗によりガタが生じる等、損傷が見られた際は使用しないでください。
5. 高所作業の際は、ご自身に安全ベルトをして、工具の落下にもご注意ください。事故やけがの恐れがあります。
6. 作業時にダイス部やハンドル部に手などをはさまないようにご注意ください。けがの恐れがあります。
7. ハンドルが開く際、ハンドルの動きにご注意ください。けがの恐れがあります。
  - 成形確認機構が働きハンドルが勢いよく開くことがあります。
8. 工具をハンマーやペンチのかわり等、圧着作業以外に使用しないでください。また当社に無断で改造や分解をしないでください。火災や事故の原因になる恐れがあります。

## 使用範囲

フェルール端子 0.14~10mm<sup>2</sup>(AWG26~8)



フェルール端子は、電線(より線)のバラケを防止し、電気接続の品質を安定させる欧州式棒端子で、端子台の形状を小さくするために考案された、より小型の棒形圧着端子です。